

令和5年度高知県漁業就業者確保委託事業公募型プロポーザル

質疑と回答

No.	質問（上段：該当箇所、下段：内容）	回 答
1	仕様書第2の1の（3） 仕様書第2の4の（3） 出展する漁業経営体の候補について相談することは可能か？	依頼があれば対応します。
2	仕様書第2の1の（4） 仕様書第2の4の（4） VR動画の活用はどのようなイメージか？	漁業就業支援センターが作成し、保管・公開しているデータがあるので、それを記録した媒体を会場で再生できる ゴーグルの準備をお願いします。
3	仕様書第2の1の（7） 仕様書第2の4の（7） 検索エンジンでの広報は、リスティング広告やディスプレイ広告に限定するのか？	限定するものではなく、より効果的な方法があれば企画提案をお願いします。
4	仕様書第2の1の（7） 仕様書第2の4の（7） 新聞媒体での広報とあるが、新聞とWEB配信の両方で行った方が効果的ではないか？	新聞媒体での広報は必須とし、その他の方法については企画提案の中でお願いします。
5	仕様書第2の2の（1） 仕様書には専門学校とあるが、漁業に特化した専門学校を想定しているか？例えば、水産関係の大学等でも良いのか？	すでに漁業就業支援センターとつながりのある専門学校もありますが、漁業就業者の確保に効果があれば、専門学校に限定するものではありません。
6	仕様書第2の5 漁業フェア等での面談スキルアップについて、現状の課題をどう捉えているか？	県内経営体が出展したこれまでの漁業フェアから、面談に不慣れな事業体もいると感じています。また、全国の漁業フェアにおいて、他県と比較して装飾面も課題があると分析しております。
7	仕様書第2の5の（2） 説明会であれば、会場の収容人数は100名程度も必要ないのではないか？	同会場にて個別相談会も実施するため、100名程度と記載しましたが、仕様書に記載のある数の実施が可能であれば、100名にこだわる必要はありません。
8	企画提案書作成要領6の（3） 新規漁業就業者の年齢構成は？	極端に多い年代はありませんが、転職により就業を希望される方も多く、直近の令和4年では20～30代が約6割を占めています。